



東京都立大学 オープンユニバーシティ飯田橋キャンパスより 2月開講講座のご案内です !!

●事例研究 財務諸表の構造とその見方・読み方

—数値からは見えない財務諸表の深読み講座— 【講座コード：2541E006】

企業活動が複雑化された今日にあっては、親会社の個別財務諸表のみでは当該企業の実態を把握することはできません。子会社を含めた「連結財務諸表」の分析が不可欠です。連結財務諸表の開示が義務づけられている上場企業等に限らず、非上場企業そして公企業においても連結財務諸表の作成は経営管理資料としても必要とされます。そこで、本講座では、まず基本財務諸表の基礎知識を整理・確認したうえで、「財務諸表のデータだけでは読めない」深読みを、可能な限りの時間を事例研究に配分しご理解を深めていただきたいと考えております。

(お願い)

- ①電卓とマーカーをご持参ください。
- ②復習をお願いします。復習のポイントは、各回の終了時にお知らせします。

講 師：三沢 清 国士館大学等 元講師

日 時：2月18日（水）、25日（水）、
3月4日（水）、11日（水）、18日（水）
18:30～20:00（全5回）

受講料：12,600円

場 所：飯田橋キャンパス（対面）

●日本は死因不明社会？

画像診断を用いた死因究明が社会を変える

【講座コード：2541G007】

日本は少子高齢化社会から多死社会に突入し、虐待や孤獨死が社会問題となっています。正確な死因究明を行うために解剖が必要となります。日本の解剖率は先進国最下位の水準です。作家の海堂尊氏はこうした状況を“死因不明社会”と表現しており、この状況を解決するために死因究明にCTやMRIなどの画像診断を用いる死亡時画像診断(Autopsy imaging: Ai)を提唱しました(人工知能のAIと異なりAiが小文字)。その後、Aiは急速に普及し、死因究明向上に貢献しています。本講座では、欧米諸国と日本の死因究明制度の違いを述べ、医療現場で実施されているAiの実際をお伝えします。

各回について

- 日本の死因究明制度とAi
- Aiを用いた死因究明の実際と今後の発展

講 師：小林 智哉

東北大学大学院 医学系研究科

画像診断学分野 助教

東京都立大学院大学 非常勤講師

日 時：2月10日（火）、17日（火）
15:30～17:00（全2回）

受講料：5,000円

場 所：オンライン

* 講座の概要については、東京都立大学オープンユニバーシティパンフレットより引用しております。(特別区協議会事業部)

※特別区職員互助組合員の方は初回のみ、必ずお電話で同組合員である旨と『組合員番号』をお申し出ください。

<問い合わせ先>

東京都立大学オープンユニバーシティ <https://www.ou.tmu.ac.jp>

Tel.03-3288-1050 (平日 9:00～17:30)

●パンフレットを無料送付いたします。